ひかり

第65号
（令和3年7月）
浄光寺寺報

山形市八日町
2-4-35
(023)622-6010

令和三年 盂蘭盆施餓鬼法要のご案内

記

八月一日（日）
午前十時半　法話
午前十一時　施餓鬼法要



※お塔婆の新規申し込みや変更のある方は
お早めに寺までご連絡ください（一本　二千五百円）
※法要後にお弁当をお渡しいたします

令和三年盂蘭盆施餓鬼法要の日程をご案内いたします。換気等に留意しマスクを着用して法要を厳修いたします。ご参列の皆様におかれましても、蒸し暑い中大変恐縮ではございますがマスク着用にご協力をお願い申し上げます。

盂蘭盆施餓鬼供養や、お盆の棚経の時に拝読する御遺文の中に『盂蘭盆御書』がございます。その一部を抜粋いたしますと、

「目連尊者が法華経を信じまいらせし大善は、我が身仏になるのみならず、父母仏になり給う。上七代下七代、上無量生下無量生の父母等存外に仏となり給う。乃至子息・夫妻・所従・檀那・無量の衆生三悪道をはなるるのみならず、皆初住・妙覚の仏となりぬ。」

要約すると（お盆の時節に）法要を営み先祖供養や施餓鬼供養といった善行を積むことは、私達自身だけでなく両親やご先祖様、子孫を含むすべての衆生が成仏できると説かれております。

我が身の成仏と他の成仏を等しく説いた法華経のありがたさを感じられる一節でございます。一方で、第一に自分自身が救われることにより、他も一緒に救われるのだと読み解くこともできます。お盆のお参りはご先祖様のご供養はもちろんでございますが、皆様ご自身の善行を積み重ねることでもあります。ご自身の安寧のためにも、皆様一緒に御題目をお唱えいたしましょう。

宗祖御降誕八百年慶讃事業のご連絡

昨号にてご報告した通り、本宗は本年二月十六日に宗祖御降誕八百年を迎えました。それに伴い各地方や都道府県での大法要が計画され、東北地方並びに山形県においても夫々昨夏昨秋に計画されておりました。しかし、何れもコロナウィルスの影響を受けて開催延期となり、場所や内容の検討を続けてまいりました。

本年中にコロナの状況が改善され、檀信徒の皆様と一緒にお祝いできることを心待ちしておりましたが、現状それもかなわず、残念ではございますが僧侶のみの出座による法要を実施することに決まりました。

東北教区は九月に青森県にて、山形県は十月に庄内地方にて開催されます。檀信徒の皆様に向けてオンライン配信や動画配信などを検討しておりますので、本誌面や信行会などの行事にて引き続きご案内いたします。

日蓮聖人降誕800年

《寺子屋・団体参拝中止のご連絡》

大変残念ではございますが、昨年に引き続き本年のわんぱく寺子屋並びに身延山団体参拝を中止とすることをご連絡いたします。

御降誕八百年を記念しての安房小湊誕生寺の参拝や歌舞伎日蓮の鑑賞等、楽しみにお待ちいただいていた方には大変恐縮ではございますが、世情を鑑みての判断となりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。



《お盆棚経のご連絡》

檀家の皆様のご自宅にお伺いし、御仏壇にてご先祖様へ読経回向するお盆の棚経についてご連絡いたします。コロナウィルスの流行が心配ではございますが、例年通りお参りを実施することをご連絡いたします。

昨年同様に諸般の状況を鑑みて本年の棚経を辞退される方は、お手数ですがお寺までその旨をご連絡いただきますようお願い申し上げます。

令和三年　長榮威徳天大祭の報告

日蓮聖人影身の守護神たる長榮威徳天の大祭が五月二十二日に開催されました。今年は檀信徒の皆様をお迎えしての法要並びに加持祈祷となり、所縁吉祥並びに疫病退散をご祈念いたしました。

またこの度の大祭に合わせて堂内の天符の張り替えを行いました。中央の「天」の字は宇宙の中心を示し、四つ角の東西南北には四天王である持国天・増長天・広目天・毘沙門天が鎮座しています。さらにその周囲に星々を意味する二十八宿を吊るして、諸天善神が降臨する聖域を表しています。





（下）和紙を折って作った幣束(ﾍｲｿｸ)で
神々や星々を表現している天符(ﾃﾝﾌﾟ)

令和三年 住職担任認証式の報告

去る令和三年六月二十四日身延山久遠寺棲神閣祖師堂にて営まれた住職担任認証式に、畑榮典上人が玄妙寺新住職として出席し、大導師菅野日彰猊下より認証書を親授されたことを報告いたします。

コロナ禍以前の住職担任認証式では住職だけでなく総代の方を帯同の上、一泊二日の日程にて講習会の受講や御廟所参拝などが義務付けられておりましたが、この度は安全に考慮し住職のみでの開催と相成りました。





境内設備　修繕工事実施の報告

二点の境内設備修繕工事についてご報告いたします。一点目はお気づきの方も多いかと存じますが、客殿の屋根修繕工事です。位牌壇入口中央部付近より雨漏りしており、経年劣化による直上の棟にできた隙間を補修して対応いたしました。

二点目は下水道切り替え工事になります。従来近隣の方の土地を通って西方向へ下水を通しておりましたが、この度ポンプアップして北方向へ流すこととなりました。ポンプの耐用年数は十年程度ですが、ランニングコストを考慮しても工事費用が抑えられる本手法を採用しました。



（上）新排水桝への接続工事
（下）足場を組んでの屋根修理
梅雨前に急ぎ実施しました



長榮堂　和室障子張り替えの報告

この度高橋雅子様よりご寄付いただきまして、長榮堂和室の障子張り替えを実施いたしました。誌面をお借りして篤く御礼申し上げます。

昭和二十二年焼失の後に再建され、昭和五十三年に改築された長榮堂でございますが、昨今は給湯器の故障やトイレの不具合など建物や設備に傷みが見受けられるようになってまいりました。ご利用の皆様にはご不便おかけいたしますが、ご容赦いただきますようお願い申し上げます。

一昨年前の東屋屋根修繕や上述の客殿屋根修繕など、毎年建物の修繕を行っている次第です。直近では山門屋根につきましても瓦の劣化が顕著であり、現在修繕につきまして世話人会にて検討している次第でございます。優先順位をつけて順々に対応してまいりますので時間を要するかと存じますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

